

【問 1】糖尿病性腎症の透析導入で正しいものはどれか。

1. 現在、日本で慢性透析導入患者原疾患の第一位である
2. 適正導入時期は他の原疾患よりクレアチニンが低値である
3. 導入期には腎性貧血が著しいので十分な輸血が必要である
4. 肺水腫は緊急導入の指標である
5. 糖尿病性網膜症による眼底出血は透析導入の禁忌である

a. 1,2,3 b. 1,2,4 c. 1,2,5 d. 1,4,5 e. 3,4,5

【問 2】急性腎不全に対する治療上特に重要なものはどれか。

1. 高 K 血症の治療
2. 感染・消化管出血の予防
3. 透析中における血圧低下の予防
4. 代謝性アルカローシスの治療
5. 高尿酸血症の治療

a. 1,2,3 b. 1,2,5 c. 1,4,5 d. 2,3,4 e. 3,4,5

【問 3】正しいものはどれか一つ選びなさい。

- a. 腎小体は糸球体と尿細管からなる
- b. ベンス・ジョーンズ蛋白は尿試験紙法で検出できる
- c. 糸球体腎炎では尿中赤血球は変形する
- d. 尿中への凝血塊はループス腎炎で認められる
- e. 尿 NAG の高値は糸球体病変を示唆する

【問 4】正しいものはどれか一つ選びなさい。

- a. ネフローゼ症候群での総コレステロールの上昇は診断に必須である
- b. 痛風腎はネフローゼ症候群の原因疾患である
- c. 血清 IgA 値は 80% の IgA 腎症例で 315mg/dL 以上となる
- d. 膜性腎症では蛋白尿主体のネフローゼ型検尿異常を呈する
- e. 糖尿病性腎症はわが国の透析導入原疾患の第 2 位である

【問 5】正しいものはどれか一つ選びなさい。

- a. アミノ酸は近位尿細管で再吸収される
- b. 腎血管性高血圧の障害部位は小葉間動脈である
- c. ループ利尿薬はヘンレ係蹄下降脚で作用する
- d. 急性間質性腎炎では蛋白尿が 3.5g/日以上となることが多い
- e. Bartter 症候群では高 K 血症となる

【問 6】正しいのはどれか。

- a. 健康成人でも生理的蛋白尿として 0.5g/日認めることがある
- b. 尿検査でウロビリノーゲン陰性は正常である
- c. Tamm-Horsfall 蛋白はヘンレ係蹄上行脚から分泌される蛋白である
- d. 尿沈渣に硝子円柱を認めるときは腎炎と診断できる

【問 7】正しいのはどれか。

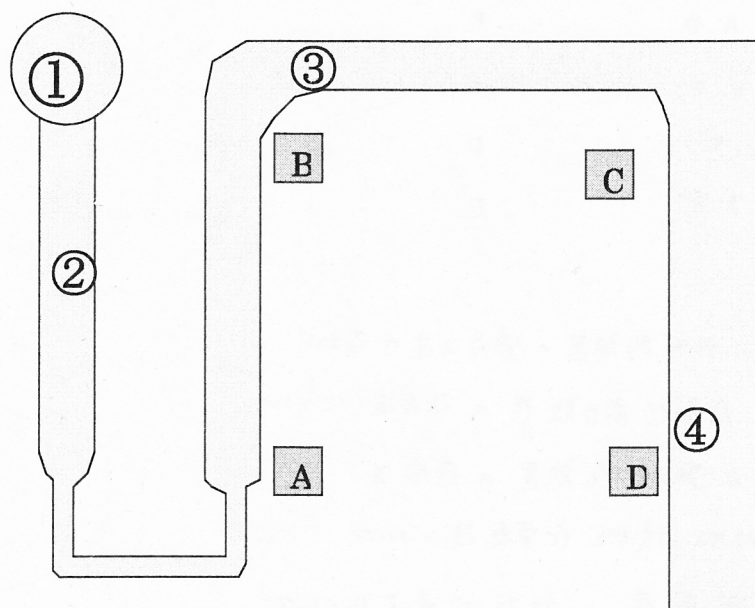
- 1. 腎性貧血はエリスロポエチン分泌の反応低下で生ずる
- 2. CKD（慢性腎臓病）の腎障害進行のリスクファクターに加齢がある
- 3. 糸球体濾過率 GFR が 60ml/分以下に低下した状態を腎不全という
- 4. 腎不全の病期ではカロリー制限食が有効である

- a. 1,2 b. 1,4 c. 2,3 d. 3,4

【問 8】 下記図は、腎臓の構造の一部を模式的に示したものであるが①から③までの名称をア～オの中から一つ選べ。

ア:ヘンレループ イ:糸球体 ウ:近位尿細管 エ:遠位尿細管 オ:集合管

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____



上記図の A~D 付近のチャンネル等に関係の深いものを下記（あ～え）より選択しなさい。

あ:アルドステロン い:サイアザイド系利尿薬 う:ループ利尿薬

え:抗利尿ホルモン

A _____ B _____ C _____ D _____